

重層的、多義的な概念である「技術評価」

3 技術の社会的な価値をさだめる

方法： コンセンサス会議、シナリオワークショップ、市民陪審、討論型世論調査、計画細胞会議 など

2 社会的な技術特性を明らかにする

方法： ライフサイクルアセスメント、環境アセスメント、産業連関分析、キャッシュフロー分析、コスト評価 など

1 工学的な技術特性をはかる

方法： 強度、耐久性、防食性などの工学的な性能を評価する工学的な方法

社会課題解決に向けた研究開発における技術評価

社会課題解決を前提とした研究開発が今後のアカデミアに求められ、単なる基礎研究ではなく、出口も見据えたシーズ創出が重要

社会に与える価値を知る必要性： 温室効果ガスの削減効果、省資源化の効果、経済成長や社会の安定性に与える影響 など

2 社会的な技術特性を明らかにする

方法： ライフサイクルアセスメント、環境アセスメント、産業連関分析、キャッシュフロー分析、コスト評価 など

評価項目	温室効果ガス排出や希少資源消費、付加価値や経済格差 など
評価時点・レベル	当該技術、技術利用システム、適用社会システム など
評価者・評価体制	専門家（対象技術、評価）、体制（チーム内、チーム横断的） など

今後のアカデミアの研究開発一般における技術評価（制度）に向けた議論への発展